

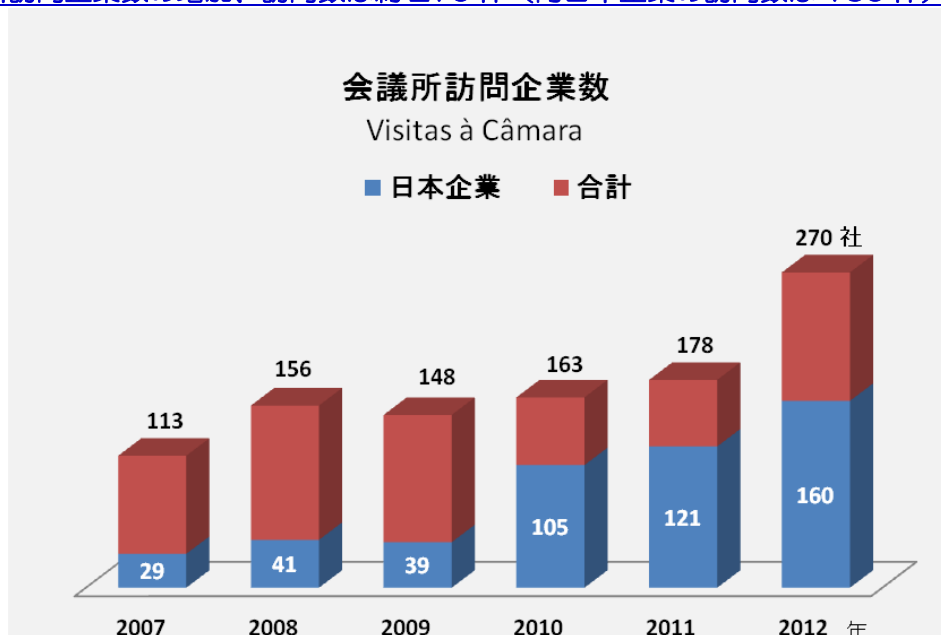
## 2 0 1 2 年 度 の 総 括

2012年12月21日  
事務局長 平田藤義

当会議所方針には開かれた、チャレンジする全員参加の会議所が冒頭に謳われています。特に今年は辰年にちなみ「果敢にチャレンジし成果を出す年」をモットーに取り組んで参りました。今年1年間の総括を行い、トピックスの中から以下の10項目を選びました。

1. 会議所訪問企業数の増加、訪問数は約270件（内日本企業の訪問数は160件）
2. サイト累積アクセス数が11月現在565万を突破
3. 会員数が史上最高記録を更新。特に進出企業が1年間で20社純増（新規入会23社、退会3社）計200社、地場企業140社、合計340社。過去の記録333社を今年10月から連続更新中。
4. 委員会・部会活動が活発、受益者負担による有意義なセミナー開催を通じ財政基盤強化に大きく貢献
5. 特記事項（商用マルチビザが1月1日から発効、日伯社会保障協定が3月1日から発効、移転価格税制が1歩前進、前古川戦略大臣との意見交換）
6. リオ+20に多くの会員企業が参加
7. 日伯関係がより強化（第15回日伯経済合同委員会および第6回日伯貿易投資促進合同委員会を今年11月、東京で開催）
8. CIPPSの「世界経済とブラジル経済の景気動向調査」に進出企業が参加協力（精度の高い多変量自己回帰モデルを使い分析する調査に47社67拠点が参加）
9. 2020年万博誘致支援宣誓書をカサビ市長へ提出
10. 会議所統一選挙の年

1. 会議所訪問企業数の増加、訪問数は約 270 件（内日本企業の訪問数は 160 件）

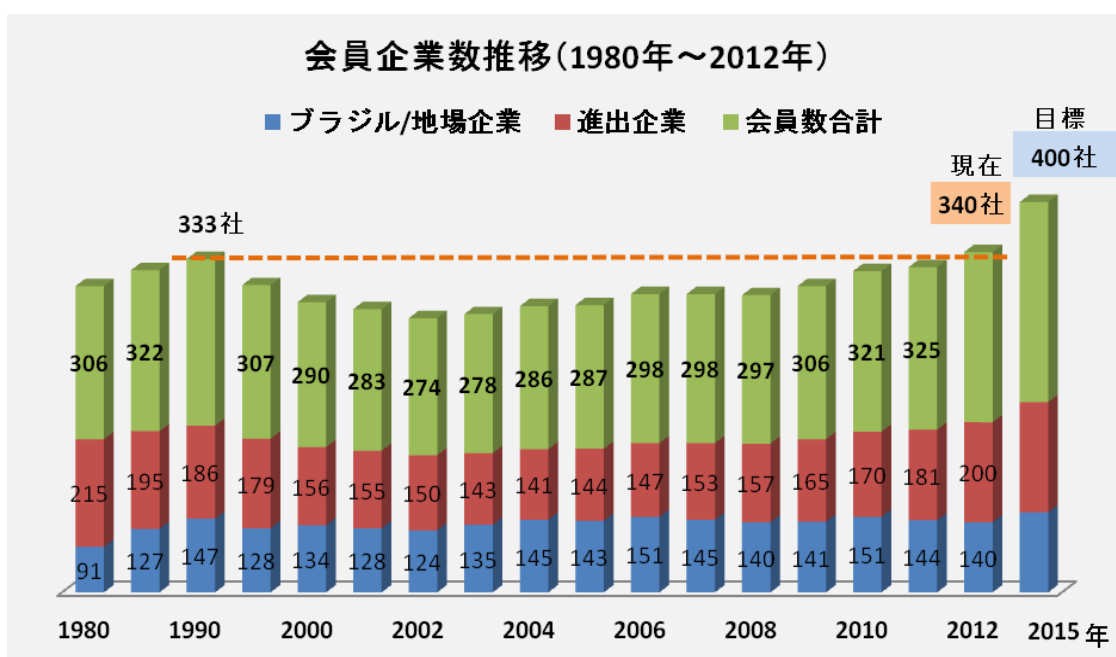


2007年～2012年までの日本企業の訪問数は29社、41社、39社、105社、121社、160社と特にリーマンショックの2年後の2010年から顕著に増えています。

2. サイト累積アクセス数が11月現在565万を突破

当所サイトの検索アクセス数は日本、米国の順に毎年著しく増加しています。海外にある日本会議所の大半が会員向けの情報提供を主目的としているのに対し、当会議所のサイトは基本的に全ての内容をオープンにしている為、デスクロース度や充実度の点で高い評価を頂いております。タイムリー且つ正確な情報提供にあたって非常に責任を感じています。

3. 会員数が史上最高記録を更新。特に進出企業が1年間で20社純増（新規入会23社、退会3社）計200社、地場企業140社、合計340社。



22年振りに1990年の最高記録333社（進出186社、地場147社）を7社上回っています。今年10月から記録を更新中です。

進出企業だけで見ますと過去の最高記録は1980年の215社ですが、これも後、僅か15社の差ですから来年度中には達成出来る見通しです。引き続き日本からの進出を促し会員増強に努めて参ります。

#### 4. 委員会・部会活動が活発化、受益者負担による有意義なセミナーの開催を通じ財政基盤強化に大きく貢献

会費だけに依存する団体はやがて衰退します！常に開かれた全員参加でチャレンジする委員会・部会活動を目指しています。

受益者負担を原則とする予算管理態勢下で委員会・部会の活動は収入と支出をバランス（損益分岐点）させる事が財政基盤強化のポイントであります。委員長・部会長は常に管理のサイクルPDCA（Plan, Do, Check, Action）を正方向に回し、年初に立案計画した方針と照らし合わせながら7月に中間活動報告書を提出・発表頂き、12月には年度を回顧、活動報告書を提出・発表を行い、翌年1月には又新年度の方針を新たに策定し、常に改善をしながら活動を行います。

#### 5. 特記事項（商用マルチビザが1月1日から発効、日伯社会保障協定が3月1日から発効、移転価格税制が1歩前進、前古川戦略大臣との意見交換）

##### ❖ 商用マルチビザが今年1月1日から発効

2010年11月の第4回貿投委（東京会議）においてビザの覚書（MOU）合意は日本政府如何に掛かっているとブラジル側から発言がありました。2011年メルコスール首脳会議（パラグアイのアスンシオン）を終え、6月30日来聖中の松本前外務大臣にMOU合意の迅速化を直訴しました。昨年時点で日伯修好条約締結から116年、移民の歴史も103年が経過、1世紀以上の友好関係にある日本が、他国の後塵を拝する事の無い様に外交努力の強化をお願いしました。

ブラジル周辺7カ国、EU諸国の大半がビザフリー、90年代半から本格的に投資を開始した韓国もブラジルとの間でビザフリー、中国は3年有効期限の商用マルチビザが日本に先立ち発効済み。米国に至っては10年有効期限の商用マルチビザが随分前に発効済みである事も説明しました。（以上1～2節は今年の総括に掲載済み）

昨年は在サンパウロ韓国総領事館を訪問し、先行しているビザフリーの現場確認や外国人登録についても情報交換、また今年の4月には在ブラジル韓国大使が当会議所を訪問された機会に、会議所活動のみならず幅広く意見交換をしました。

本来なら第2次進出ブームのあった1970年代に、日伯双方で相互協定あるいはMOU合意が結ばれるべきであったかも知れません。声を大にして叫ばなかった民間、外交力に乏しく黙認し続けイニシアチブやリーダーシップに欠けた政治家や政府、政官民の3者共々大いに反省すべきでしょう。

これからは色々な種類のビザ案件に纏わる両国の障害要因をしっかりと調査・分析、他国と比較、外交力の強化に努め、国際的な視点から前向きに取り組む事が肝要です！人材の交流なくして経済や文化の交流はあり得ません！人材の交流の原点にビザ案件がある事を忘れてはいけません！日本の少子高齢化対策とも密接に関係し合っている案件でもあります。

##### ❖ 日伯社会保障協定が3月1日から発効

2006年9月15日、理不尽な二重納付についてアンケート、当時在留邦人776人の掛け捨て金額は年間21億円にのぼり、世界第3位にランクされていました。日本経団連にご協力を仰ぎ、同団体が主導されて貿易会/在外企業協会と伴に厚生労働省に働きかけ、両国の国会審議を経てようやく今年3月1日から発効しました。2012年2月の定例昼食会で日本の厚労省とブラジルの年金局が社会保障協定締結について説明会が開催されました。出稼ぎ者の方々を含めその恩恵に与っている方々は数え切れなんでしょう。

今年10月、直近のアンケート調査結果においては会員所属の駐在員数は1178人に増加しました。進出企業の労務コスト低減にどれだけ大きく寄与しているのか計り知れませ

ん！本協定の初期の段階から実務を担当、立役者でもありましたサンパウロ総領事館の坪井領事（今年着任）にあらためて心から感謝します。

#### ❖ 移転価格税制（TP）が1歩前進

主な経緯：

- 2006年3月： 主要14カ国の外国商工会議所（外国投資家グループ）と連携、国際標準（OECD）/日本/ブラジルの税制を比較マトリックス分析、同じ途上国のメキシコやチリと比較研究
- 2006年5月： ブラジリアの下院外交防衛委員会でTPに関する経済セミナーを開催
- 2007年1月： G・M現職財務大臣に改善陳情書を提出
- 2009年2月： 第1回貿投委で連邦収税局と会合（OECD標準を要請）
- 2009年6月： A・P前財務大臣とGIE（外国投資家グループ）がTP改善要請
- 2009年9月： 第2回貿投委（東京）開催
- 2009年11月： A・P前財務大臣が昼食会で講演、税制の簡素化やTP改善を示唆
- 2009年12月： TP暫定法478号公布
- 2010年2月： TP暫定法478号についてアンケート実施
- 2010年4月： 第3回貿投委（ブラジリア）開催
- 2010年6月： TP暫定法478号廃案
- 2010年5月： 第13回日伯合同委員会（東京）開催
- 2010年11月： 第4回貿投委（東京）開催
- 2010年12月： 35品目について企業名を伏せ実態マージン率を連邦収税局に提示
- 2011年4月： TP暫定法563号公布
- 2011年8月： 第14回日伯合同委員会/第5回貿投委（バイア）開催
- 2012年9月： TP法律12715号公布
- 2012年11月： 第15回日伯合同委員会/第6回貿投委（東京）開催

特に2010年以降、TP案件に関しアメリカ会議所/ドイツ会議所/FIESPと年数回の会合を持ち、現在も情報交換を継続中。

**暫定法563号と、9月の法令12715号は、暫定法478号に比べて大幅に改善、光学機器や医薬品の40%マージン率を除き一歩前進、今年11月に開催された第6回貿易投資促進合同委員会（東京）において報告されました。**

この長い苦闘の期間中、特にご尽力頂いた移転価格税制検討委員会（岩村元委員長：ホンダ、副委員長：ホンダの鍋島、寺田、末諸氏）、日伯法律委員会の移転価格税制WGの松田元委員長（帰国）：パナソニック、副委員長：パナソニックの篠原氏、デロイト監査法人の都築氏、同法人のフェルナンド氏、ソニー本社に帰国の筒井前日伯法律委員長の諸氏に加え、在ブラジル日本大使館の宮下前参事官、吉村前書記官、仲谷前書記官、高杉公使参事官、荒木参事官、前田書記官、佐久間前書記官諸氏、また大勢の会員・非会員の関係各位に対し厚くお礼を申し上げます。

#### ❖ 前古川戦略大臣との意見交換

グローバル競争下のオール日本としての官民一体のあり方および政治主導による戦略的な予算配分（先進成熟国からBRICSへの適正配分）について意見を具申しました。

直行便の開設、中国や韓国企業勢の進出状況、失われたブラジルの80年代と日本の90年代から引きずるバブル後遺症、金融業界の過去と現状および将来、金利政策、中小企業進出支援、アジア諸国と自己完結型のブラジルとの違い、東日本大震災と原発問題、TPP、日本のビジネスモデル、ブラジルの産業政策、構造改革、長期視点の日伯協力関係、企業のコンプライアンス、リスクマネジメントについて具体的な意見交換を行いました。

## 6. リオ+20に多くの会員企業が参加

サントスドモン空港からタクシーで会場まで5時間！！帰りはシャトルバスで3時間！治安維持のため憲兵による戒厳令並みの通行止めに遭遇。各種のインフラ整備は14年ワールドカップ/1

6年リオオリンピック開催に間に合うのか？それは即ち日本企業にとってはビジネスチャンスになり得るのか？スピード感を持ってまさに時間との戦いと言えます。

## 7. [日伯関係がより強化（第15回日伯経済合同委員会および第6回日伯貿易投資促進合同委員会を今年11月に開催）](#)

### ❖ [第15回日伯経済合同委員会（11月7日～8日）](#)

ブラジルとパートナーシップを強化し貿易投資のさらなる活性化を図る主に資源開発、ソフト・ハード両面に亘るインフラ整備、環境都市の構築、イノベーション等の分野で伴に成長したいとする強い開会挨拶（飯島経団連日伯経済委員長）がありました。

日本から近藤洋介経済産業副大臣、ブラジルはピメンテル 開発商工大臣、アナスタシア ミナスジェライス州知事、コロンボ サンタカタリナ州知事、日伯双方から総勢250名が参加されました。

ブラジルにおける投資環境、人的交流の促進、天然資源・エネルギー、基幹インフラ整備における日本企業の取組、2014年ワールドカップ/2016年オリンピック関連のインフラ整備、インフラ・ファイナンス、農業開発（プロサバナ計画）、スマートシティの構築、環境・省エネ（エコカーの普及）、R&Dの推進、政府による研究開発支援について活発な討議が展開されました。

ブラジル側を代表するマスカレーニャス CNIブラジル日本経済委員長は閉会にあたって【道筋も出来、関係が一層深まり多くの提案があった。今後の貿易拡大に期待が持てる。両国は特に車やエネルギーの分野でお互いが持ち合うポテンシャルをふんだんに活用しながら伴に発展して行きたい。この話し合いを通じてさらに良好な関係を構築、来年に向け新たなメカニズムを作りたい。】と総括、次回の会合はミナス州で9月開催を示唆しながら合同委員会は無事終了しました。

### ❖ [第6回日伯貿易投資促進合同委員会（11月9日東京）](#)

共同議長は日本側、佐々木経済産業審議官が、ブラジル側はヒカルド開発商工省副次官（共同議長）貿易と市場アクセス/投資促進/教育及び持続的発展に関する協力/ビジネスの円滑化 /民間部門の報告および事業説明会/ビザ問題、技術移転、移転価格税制の問題解決の期待、税務当局による協議の加速化、二国間投資協定、日メルコ・スールFTAの締結の実現に対する要望等がテーマとして採り上げられました。日伯ハイレベル協議の位置づけにあるこの合同委員会は問題解決型で挑むだけにビジネス環境整備に係る問題点が次々に改善されています。前述のビザ案件や移転価格税制の改善結果等がその一例です。会合を重ねて行く過程で共同議長が変わるのは常であるが、過去から引きずる懸案議題をしっかりと押さえ、新鮮で且つ緊張感を持った会議の継続を是非ともお願いしたい。

## 8. [CIPPSの「世界経済とブラジル経済の景気動向調査」に進出企業が参加協力（多変量自己回帰モデルを使い分析する調査に47社67拠点が参加）](#)

会員企業の生産、販売、在庫、コスト、収益、雇用など景気動向に関わる諸指標の動きについて毎月簡単なアンケートを継続的に実施、調査協力企業に対しては4月から9月迄のアンケート結果の推移をフィードバック中です。

多変量自己回帰モデルを駆使しブラジル国内外で起き得る将来の傾向も分析、企業の経営判断に役立つ精度の高い情報提供に期待しています。

## 9. [2020年万博誘致支援宣誓書をカサビ市長へ提出](#)

サンパウロ市の万博テーマは「多様性の力、成長への調和」となっています。

9月19日、日系主要5団体がカサビ サンパウロ市長に2020年万博開催都市立候補への支援趣意書を手渡しました。

祖国の伝統文化を守りながらブラジル社会へ溶け込み、同時にブラジル社会も日系移民を受け入れ、今日世界最大の日系コミュニティを構築、日系社会にとっても非常に意義深い。多様性というブラジルが誇る国家財産の最良例と言えましょう。

サンパウロ市以外にロシア・エカテリンブルグ市、トルコ・イズミール市、アラブ首長国連邦・ドバイ首長国、タイ・アユタヤ市が立候補、来年11月パリの万博事務局で正式に開催地が決まる予定です。日本は大阪万博、愛知万博と豊富な経験と知見を持ち合わせている。その経験と知見を生かし特にソフトの面等でも協力して挙げる分野は多いと思います。

## 10. 2年1回行われる会議所統一選挙の年（2013年/14年度の理事・監事選挙）

8月10日：理事・監事選挙管理委員会発足

～ 全会員による理事（立候補社/者33名）、監事（立候補者6名）選挙の実施 ～

10月11日：臨時理事・総会で選挙結果の報告・承認（選挙管理委員会解散）

2013年/14年度新理事30名、新監事3名および補欠3名が選出された。

10月11日：会頭選挙管理委員会発足

～ 2013年/14年度新理事30名による会頭選挙（立候補者1名）の実施 ～

11月1日：臨時理事・総会で会頭選挙結果の報告・承認（選挙管理委員会解散）

信任投票により2013年/14年度会頭に近藤正樹氏が選出され続投されます。引き続き会員各位の温かいご支援並びにご協力を切にお願い申し上げます。

## 2012年度の主要行事・活動報告書

### 1月

01日

- 日系6団体共催の新年祝賀会

12日

- 日系社会委員会（天野一郎委員長）開催 /1月17日の新年会で行う「ブラジル日本移民・日系社会史年表増補版（1996年～2010年）」並びに1996年に発行された年表と併せたセットの即売会の打ち合わせ

13日

- 日・英・ポ語3カ国語「Accounting Pocket Guide」（会計用語・略語集ポケットガイドブック）の出版報告で、PWCのカロリーナ・サカマ リーダーと邦字新聞社2社を訪問

17日

- 会議所新年会 PWC社と共同出版の日、英、ポル語3ヶ国語による会計用語集（900語）出版会

20日

- 天野一郎日系社会委員長、石嶋勇同副委員長が東日本大震災1周年の慰霊ミサ準備会合（日系主要5団体共催）に出席
- 官民合同会議に向けた準備会合を開催/企画戦略委員会（澤田委員長）/日伯経済交流促進委員会（藤井委員長）/「日伯間のビジネス環境の課題に関する現状整理アンケート」調査を同委員会が既存案件と新規案件に層別した結果報告書を基に今後の展開の仕方について協議/日伯経済交流促進委員会の委員長の藤井氏（三井物産）、同副委員長の杉本氏（三井物産）深瀬氏（JETRO サンパウロ）、企画戦略副委員長の原氏（JETRO サンパウロ）

26日

- 日伯モザンビーク三角協力による農業開発プログラム（ProSAVANA）の進捗状況報告会

27日

- 永島隆治リオ領事が『リオ+20』の準備状況報告で訪問 /永島領事、廣瀬環境委員会委員長、出見副委員長、他関係者

### 2月

3日

- 日系デカセギ帰国者支援情報交換会（サンパウロ総領事館）

7日

- 外務省草の根文化無償 寄付調印式典 近藤会頭出席
- 韓伯学園（COLÉGIO POLILOGOS）を訪問（大阪商業大学古沢昌之教授がブラジル進出企業における「日系人の活用」等に関する調査の一環、平田事務局長、日下野補佐同行）

8日

- ドイツ商工会議所訪問（同上）
- 大阪商業大学古沢昌之教授セミナー（調査結果の分析やコメント・纏めを発表）コンサルタント部会(都築慎一部会長)主催
- 大阪商業大学古沢昌之教授との座談会（都築コンサルタント部会長、Authent 栗田氏、平田事務局長出席）

9日

- アメリカ商工会議所（AMCHAM）で行われた今年第1回目となる税制会合に出席

10日

- 会議所定例昼食会 — 厚生労働省年金局の斎藤隆国際年金課長補佐/国立社会保険院（INS S）のマウロ・ハウスシルジ長官が日・ブラジル社会保障協定について講演
- 今年1回目の環境委員会（廣瀬委員長）

13日

- サンパウロ州工業連盟（FIESP）の海外投資家（GPAII）グループの第一回会合に参加
- 国際公共政策研究センター(CIPPS)の田中直毅理事長、主任研究員の渡部芳朗氏、及び事務局の田村直之氏との懇談会

14日

- 2012年上期業種別部会長シンポジウム/国際公共政策研究センター(CIPPS)田中直毅理事長基調講演「世界経済の動向およびブラジル経済の景気動向調査協力願い」

15日

- 平成23年官民合同会議（外務本省山田彰中南米局長、在伯日本大使館三輪昭大使他50人が参加）

17日

- 東日本大震災1周年の慰霊ミサ開催についての第3回準備会合

28日

- 東日本選抜女子サッカーチーム 懇親会（あしなが育英会玉井会長発起）に出席

29日

- 金融部会/部会活動について意見交換

**3月**

1日

- The Japan Times インタビュー 平田事務局長対応



- 震災復興写真展オープニング 震災復興写真展『日本の再生：ありがとう、ブラジル！』（在サンパウロ総領事館・国際交流基金・サンパウロ州政府・フジフィルム・ド・ブラジル共催）に出席

2日

- ジェトロ南米（ペルー・ベネズエラ）セミナー開催 ジェトロサンパウロ事務所、コンサルタント部会共催

7日

- 総合防災セミナー（主催：サンパウロ州防災局、共催：国際協力機構(JICA)、サンパウロ JICA 帰国研修員同窓会(ABJICA)

8日

- 中谷アンセルモ日伯文化連盟会長サンパウロ名誉市民賞受賞式(アンシエッタ宮)

10日

- 東日本大震災犠牲者一周忌慰霊ミサ並びに復興祈願式（日系主要 5 団体、6 被災県人会共催）

11日

- 東日本大震災犠牲者一周忌追悼法要並びに復興祈願（日系主要 5 団体、6 被災県人会共催）

14日

- 『東日本大震災追悼・復興レセプション』（総領事公邸）

26日

- ABMON（Associação dos bolsistas do Governo japonês - Monbukagakusho）との夕食懇談会

27日

- 日伯社会保障協定に関する案内（在サンパウロ日本国総領事館）/坪井俊宣領事が会議所を訪問、3月1日より施行された日伯社会保障協定に関する案内が取り纏められた総領事館ホームページを紹介

30日

- 東日本大震災追悼法要・慰霊ミサについての報告を兼ねた最終会合

**4月**

5日

- 日本査証申請センターのオープニングセレモニー

11日

- 日伯社会保障協定に関するセミナー コンサルタント部会（澤田吉啓部会長）主催（元厚生労働省年金局国際年金係長で、日伯社会保障協定の提携に関わったサンパウロ総領事館坪井俊宣領事が講師）

16日

- サンパウロ州工業連盟（FIESP）の海外投資家（GPAII）グループ会合 4月3日付暫定措置令563号で交付された移転価格税制の変更について、その評価と討議が行われた。平田事務局長出席

17日

- コンサルタント部会（澤田吉啓部会長）主催による「M&Aに関する実務セミナー」

18日

- AGC ガラスブラジル株式会社（旭硝子）のオープン式

24日

- 12カ国で構成する南米諸国連合（Unasul）の社会・経済開発に向けた南米インフラセミナー「南米インフラ統合8軸計画」に参加

29日

- 古川元久国家戦略大臣との会合（パッケージ型インフラ海外展開、金融、エネルギー関係等々の意見交換会）

## 5月

3日

- 移転価格税制に関するセミナー（ポルトガル語）コンサルタント部会/澤田吉啓部会長、企業経営委員会/上野秀雄委員長共催 講師：デロイト・トゥーシュ・トーマツ社のフェルナンド・マツトス氏

7日

- 環境委員会開催

8日

- 財務委員会会合/村田俊典財務委員長、種村正樹同副委員長並びに平田藤義事務局長
- 日本語による移転価格税制に関するセミナー コンサルタント部会（澤田吉啓部会長）主催 講師：コンサルタント副部会長/デロイト・トゥーシュ・トーマツ 都築慎一ディレクター

22日

- 外国人労働者：入国管理政策の現状に関するセミナー 企業経営委員会、日伯法律委員会、コンサルタント部会主催 /司会 リベルコングループのフェルナンド高田社長、労働・雇用省移住課コーディネーターのアウド・カンジド・コスタ・フィーリョ氏、法務省事務局コーディネーターのアウデノール・デ・ソウザ氏、外務省入国管理課チーフのラウフィ・ペテル・エンデルソン氏がそれぞれ講演

23日

- 環境委員会会議

25日

- 金融部会（遠藤秀憲部会長）主催のブラジル金融市場講座「☆これで分かる！☆ブラジル金融市場講座1～金利・為替相場の決定要因～」

## 6月

1日

- 『アマゾン森林保全・違法伐採防止の為にALOS衛星画像の利用プロジェクト』の講演会 環境委員会（廣瀬孝委員長、JICAブラジル事務所共催）

5日

- サンパウロ州工業連盟（FIESP）のルイス・カルロス・トリポド氏がコーディネーターを務める海外投資家（GPAII）グループ会合

13日

- 大部一秋在サンパウロ総領事及び伊藤友久副会頭の送別会
- 日伯法律委員会並びにコンサルタント部会共催による2012年税制変更セミナー

18日

- 開拓先亡者追悼大法要（ブラジル仏教連合会、ブラジル日本文化福祉協会共催）

20日

- リオ+20ジャパンデイ 平田事務局長出席

21日

- 日伯経済交流促進委員会（藤井晋介委員長）の会合

22日

- 「ブラジルへの技術移転に関するセミナー」 コンサルタント部会（澤田吉啓部会長）主催

26日

- 大部一秋在サンパウロ総領事（会議所名誉顧問）の送別行事（総領事公邸）
- 毎日新聞社「エコノミスト」誌向けの取材に应对 平田事務局長
- 大部一秋在サンパウロ総領事夫妻の送別会（日系 30 数団体共催）

## 7月

5日

- アマダ・ド・ブラジルのテクニカルセンター開所式典に参加
- 渉外広報委員会（中西俊一委員長） 略語集打合せ

10日

- 相互啓発委員会（江上知剛委員長）
- JCB インターナショナル・ド・ブラジルのオープン式

11日

- 株式会社アバンセコーポレーションのオープン式

13日

- 定例昼食会 タルソ・ジェンロ南大河州知事がテーマ「RS（Rio Grande do Sul）においての投資促進」について講演

20日～21日

- マナウス経済特区視察見学会（相互啓発委員会） モトホンダ工場、ソニー工場見学、アマゾナス日系商工会議所との交流会

24日

- 金融部会（遠藤秀憲部会長）主催の第2回ブラジル金融市場講座 講師：ブラジル三菱東京UFJ銀行 浅野学トレジャリーセールスヘッド

## 8月

7日

- 岩井良行特許庁長官と意見交換 前回の日伯貿投委で俎上された「技術移転上の足枷」、「特許審査の現状」について説明、他ビジネス環境全般について意見交換

9日

- トヨタ・ド・ブラジル ソロカバ工場竣工式

10日

- 定例昼食会 フレデリコ・ラメゴ・テイシェイラ・ソアーレス SENAI 国際部長が「未来を担う SENAI」と題し講演

14日

- サンパウロ州工業連盟（FIESP）のルイス・カルロス・トリポド氏がコーディネーターを務める海外投資家（GPAII）グループ会合

21日

- ブラジル政府「国境無き科学」プロジェクトの日本側受入れ機関の来伯にあたる留学説明会及び三輪昭大使主催関係者との懇親会 在サンパウロ日本企業が招待される

24日

- 日伯経済合同委員会に向けて全国工業連合（CNI）との準備会合

28日

- 平成24年度外務大臣表彰の伝達・祝賀式

29日

- 「南米の産業と社会情勢視察団」の一行との意見交換会

31日

- 渉外広報委員会開催（略語集打合せ）
- 理事選挙説明会開催

## 9月

1日

- ブラジル日本青年会議所（JCI、ダニエル・カワチ代表）が30周年を迎えサンパウロ市内で記念式典

6日

- 埼玉県議会日伯友好議員連盟一行と意見交換会

12日

- パナソニック新工場竣工式

13日

- 在リオデジャネイロ日本国総領事館の渡邊優総領事並びに経済班長の田中宏和領事との意見交換会

14日

- 定例昼食会 福嶋 教輝 在サンパウロ日本国総領事の歓迎会

19日

- 2020年万博誘致支援宣誓書をカサビ市長へ提出（日系主要5団体連名）

24日

- 磐田信用金庫（ブラジル連邦貯蓄金庫—Caixa—と業務提携）の第3回ブラジル経済中小企業視察ミッション

25日

- 2013年/2014年度の理事/監事選挙の開票

27日

- 初めての日本語による労働法セミナー開催 企業経営委員会（上野秀雄委員長） 講師：フラビオ押切弁護士

## 10月

4日

- [総務委員会](#)

11日

- 臨時理事会・総会/中村敏幸 理事選挙管理委員長が2013/2014年度理事選挙結果報告、遠藤秀憲 監事選挙管理委員長が2013/2014年度監事選挙結果報告 澤田吉啓総務委員長が理事・監事選挙規則及び会頭選挙規則の改定について説明

18日

- ドイツ商工会議所およびアメリカ商工会議所を訪問、就労ビザから永住ビザへの切り替えの期間中に発生する諸問題について意見交換/ハッピーアワーの打合せ：来年4月8日或いは18日

19日

- ゴイアス州ビジネス投資セミナー コンサルタント部会（澤田吉啓部会長）並びにジェットロ・サンパウロ事務所（澤田吉啓所長）共催/ゴイアス州政府商業・サービス局のダニロ・フェレイラ・ゴメス局長がゴイアス州の投資/ウエリントン・マツス・デ・リマ生産局長がゴイアス州政府の企業誘致に対するインセンティブと優遇税制についてそれぞれ講演

23日

- ブラジル医薬品業界企業の意見交換会/ Astellas US LLC & Astellas Pharma US Inc.の吉田昌生社長/CEOの来伯に伴い開催 Astellas Pharma US Inc.のMartin Mercer 中南米担当副社長、同じく宮内隆幸シニアディレクター、武田製薬ブラジルのGiles Platford 社長、第一三

共ブラジルの Eloi Bosio 社長、Interfarma（医薬品研究開発協会）の Jorge Raimundo 審議  
会会長、サンパウロ総領事館坪井俊宣領事らが出席

26日

- 渉外広報委員会は略語集改訂版出版について意見交換会を開催

30日

- 財務委員会開催

## 11月

1日

- 臨時理事会・総会 中村敏幸 選挙管理委員長より 2013/2014 年度会頭選挙結果報告 澤田  
吉啓 総務委員長よりブラジル日本商工会議所定款第 13 条の改定並びに定款第 29 条 II 号の改  
定について説明 村田俊典 財務委員長が会費調整の方向性を説明

6日

- ガウヴォン在日大使との懇談会（大使公邸）

7日

- 第 15 回経済合同委員会

8日

- 第 15 回経済合同委員会

9日

- 第 6 回日伯貿易投資促進合同委員会（略称：日伯貿投委）が東京で開催  
1) 貿易と市場アクセス ① ソフトウェア及び IT サービスの輸出、② 航空機産業に関する情  
報交換 ③ 日本産食品に対する輸入規制 ④ メルコスールの変革 ⑤ ブラジル自動車分野その他の  
産業政策  
2) 投資促進 ① 鉱物資源② 戦略分野の投資機会及び州投資専門家育成  
3) 教育及び持続的発展に関する協力 ① 理工系人材の育成協力② 造船産業技術者要請促進協力  
③ エコラベルモデルの協力④ 太陽光エネルギー・発電協力  
4) ビジネスの円滑化 ① ビザに関する問題② 技術移転に関する問題 ③ 移転価格税制④ 特許庁  
間の協力 ⑤ 医薬発明の審査に関する問題 ⑥ 半導体産業におけるパートナーシップ 5) 民間部  
門の報告および事業説明会① 経団連－CN I 経済合同委員会報告 ② ジェトロ ③ J B I C ④  
J I C A  
⑤ JOGMEC 6) クロージング  
経団連（大前日本ブラジル経済委員会企画部会長（三井物産顧問））から、ビザ問題、技術移転、  
移転価格税制の問題解決の期待、税務当局による協議の加速化、二国間投資協定、日メルコスー

ルFTAの締結の実現に対し要望。外務省山田中南米局長、ガウヴァン在京ブラジル大使、両国議長から挨拶し、次回ブラジル開催を確認して終了

29日

- 南米経済交流並びに名古屋港利用促進使節団との懇談会/日伯経済交流促進委員長の藤井晋介副会頭が「ブラジルの経済情勢・ビジネス環境」について/中西俊一副会頭が「トヨタ自動車のブラジル現地戦略」についてそれぞれ講演

## 12月

5日

- 天皇陛下誕生日祝賀会へ会頭が出席（文協）
- 天皇陛下誕生日祝賀会へ常任理事が出席（総領事公邸）

12日

- サンパウロ工業連盟（FIESP パウロ・スカフェ会長）主催の「港湾戦争 連邦上院の決議第13/2012号」セミナー出席

14日

- 会議所常任理事会 2013/14年度の常任理事指名確認終了

17日

- ジョゼー・アグスト・コヘーア FIESP 国際関係副理事と来年1月30日に予定されている懇親交流会について打合せ

19日

- 「憩の園」吉岡会長へクリスマス景品贈呈式



## 2012年のブラジル日本商工会議所活動状況の纏め

ブラジル日本商工会議所  
事務局

### ブラジル日本商工会議所の活動の変化

#### 会議所活動状況 (2012年12月21日)

項 目	2009年	2010年	2011年	2012年
懇親昼食会、夕食会、忘年会、新年会	12	12	12	12
歓迎・送会（大使、総領事、常任理事他）	3	3	3	11
部会の開催件数（部会・長シンポ、共催）	34	25	24	25
委員会の開催件数（異業種交流委員会）	21(9)	23(8)	19(3)	20
同上（会議所外 GIE・CDM 会合、FIESP 等の公的機関）	2	6	3	0
日系諸団体との会議(日系代表5団体ほか)	7	2	2	12
月例会の件数（法律、労働問題）	21	22	19	20
総会・臨時理事会	3	5	3	3
セミナー、イベントの開催件数（共催）	14	15(5)	19(7)	17
研修旅行（大・小旅行相互啓発主催）	0	0	0	1
工場・農場見学相互啓発主催(委員会)	0	1	2	0
同 上（部会主催）	3	1	0	0
他の団体との会議・シンポ・セミ・フォーラム（官民合同、経団連、FIESP 訪日ミッション、全伯日系会議所、日伯議員連盟、他州ほか）	15	14	38	40
他団体主催のイベントへの参加	41	53	42	52
監事会、常任理事会の開催件数	16	17	15	16
表敬訪問件数 （FS 含む訪問件数合計）	147 (148)	151 (163)	140 (178)	234 (270)
新聞社訪問件数（部会長懇談会案内他）	2	2	2	2
アンケート調査件数	3	4	11	2
各種調査依頼数（日本からの調査依頼）	61(52)	139(118)	126(120)	114(109)
会員からの提言件数	0	0	0	0
分科会の設置件数	0	0	0	0
昼食会の知事、大臣レベルの出席回数	1	2	1	1
会議所ホームページ・累計ページビュー数	3472251	4145404	4764163	5651503
ブラジル経済情報の送付件数	207	205	203	211
事務局便りの送付件数（外部団体主催含む）	55	46	69	71

注釈) 件数は（ ）内の共催数を含む。

2012年12月20日までの日本語サイトページビュー26484 ポルトガル語 21584

2012 年度定例懇親昼食会の状況

月	参加者 (人)	2012 年度 講演者名	2011 年度 講演者名	2012 年度利用 ホテル名
1	180 人	三輪昭在ブラジル日本国特命全権大使	三輪昭在ブラジル日本国特命全権大使/170 人	チボリホテル
2	180 人	厚生労働省年金局の斎藤隆国際年金課長補佐//国立社会保険院 (INS S) のマウロ・ハウスシルジ長官	ミナス・ジェライス州開発統合院 (INDI) のマウリシオ・デ・オリベイラ・セシリオ投資促進部長/120 人	マクソウドホテル
3	130 人	タルシーソ・フレイタス DNIT (輸送インフラ局) エグゼクティブ・ディレクター	大部一秋総領事/130 人	インターコンチネンタルホテル
4	105 人	ブラジル・トレーディング・カンパニー協会 (ABECE) のイヴァン・ハマーリョ会長	アルナルド・ファリア・デ・サー下議/100 人	インターコンチネンタルホテル
5	100 人	ジョゼ・セルジオ・ガブリエリ・バリア州企画長官	フランシスコ・タルキニオ・ダルト MT 副知事/105 人	ブルーツリーモルンビ・ホテル
6	130 人	ソウザ・ラモス社のエドアルド・デ・ソウザ・ラモス会長	在サンパウロメキシコ総領事館のホセ・ヘラルド・エルナンデス総領事/120 人	マクソウドホテル
7	140 人	タルソ・ジェンロ南大河州知事	在ウルグアイ日本国大使館 佐久間健一 特命全権大使/熱帯森林保護団体 (Rainforest Foundation Japan) の南研子代表/100 人	チボリホテル
8	100 人	フレデリコ・ラメゴ・テイシェイラ・ソアーレス SENAI 国際部長	貿易審議会 (CAMEX) のエミリオ・ガロファロ・フィーリョ局長/100 人	インターコンチネンタルホテル
9	140 人	ブラデスコ銀行チーフエコノミストのオタヴィオ・デ・バーロス 氏	三菱東京UFJ銀行ロンドン支店 欧州市場部の武田紀久子シニアカレンシーエコノミスト/110 人	インターコンチネンタルホテル
10	140 人	ルシアーノ・サントス・タヴァレス・デ・アウメイダ INVESTE SÃO PAULO 局長	アジア諸国で大使を歴任したジャジエル・フェレイラ・デ・オリヴェイラ氏/100 人	インターコンチネンタルホテル
11	140 人		ジョゼ・ウィルソン・シケイラ・カンポス・トカンチンス州知事/100 人	マクソウドホテル
12	230 人	コシノジュンコ氏	キングカズこと横浜 FC の三浦知良氏/200 人	チボリホテル

参考資料：会員の推移

1) 2012 年度月次国籍別の会員

Mês 月	入退会残	Origem 国籍					Total 計 Empresas	PF 個人	TOTAL 合計
		Japonesas 進出	Nikkeis 日系	Brasil ブラジル	Estrang 外資				
1	Adesão	2	1	0	0	3	0	3	
	Desliga	0	1	2	0	3	0	3	
	Saldo	183	88	36	18	325	6	331	
2	Adesão	2	1	0	0	3	0	3	
	Desliga	1	2	0	2	5	0	5	
	Saldo	184	87	36	16	323	6	329	
3	Adesão	0	0	0	0	0	0	0	
	Desliga	1	0	0	0	1	0	1	
	Saldo	183	87	36	16	322	6	328	
4	Adesão	4	1	1	0	6	0	6	
	Desliga	0	0	1	0	1	0	1	
	Saldo	187	88	36	16	327	6	333	
5	Adesão	0	0	0	0	0	1	1	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	187	88	36	16	327	7	334	
6	Adesão	1	0	0	0	1	0	1	
	Desliga	0	1	0	0	1	0	1	
	Saldo	188	87	36	16	327	7	334	
7	Adesão	0	0	1	0	1	0	1	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	188	87	36	16	328	7	335	
8	Adesão	2	0	2	0	4	0	4	
	Desliga	0	1	0	0	1	0	1	
	Saldo	190	86	38	16	331	6	337	
9	Adesão	4	1	0	0	5	0	5	
	Desliga	0	0	3	0	3	0	3	
	Saldo	194	87	35	16	333	6	339	
10	Adesão	2	1	1	0	4	0	4	
	Desliga	1	0	0	0	1	0	1	
	Saldo	195	88	37	16	336	6	342	
11	Adesão	3	0	0	0	3	0	3	
	Desliga	0	1	0	0	1	0	1	
	Saldo	198	87	37	16	338	6	344	
12	Adesão	3	0	0	0	3	0	3	
	Desliga	0	1	0	0	1	0	1	
	Saldo	201	86	37	16	340	6	346	
入会	Adesão	23	5	5	0	33	1	34	
退会	Desliga	3	7	6	2	18	1	19	
残	Saldo	201	86	37	16	340	6	346	

2) 2012 年度/国籍別の会員推移

Ano 年	入退会残	Origem 国籍						PF 個人	TOTAL 合計
		Japonesas 進出	Nikkeis 日系	Brasil ブラジル	Estrang 外資	Sub 計	Soma 合計		
2000	Adesão	1	6	3	1	10	11	3	14
	Desliga	3	2	0	0	2	5	0	5
	Saldo	156	83	34	17	134	290	3	293
2001	Adesão	2	3	2	0	5	7	11	18
	Desliga	3	7	4	0	11	14	0	14
	Saldo	155	79	32	17	128	283	14	297
2002	Adesão	2	4	1	0	5	7	0	7
	Desliga	7	2	6	1	9	16	0	16
	Saldo	150	81	27	16	124	274	14	288
2003	Adesão	7	7	9	2	18	25	3	28
	Desliga	14	2	4	1	7	21	2	23
	Saldo	143	86	32	17	135	278	15	293
2004	Adesão	5	10	8	2	20	25	3	28
	Desliga	7	3	6	1	10	17	5	22
	Saldo	141	93	34	18	145	286	13	299
2005	Adesão	11	5	7	4	16	27	4	31
	Desliga	8	9	5	4	18	26	4	30
	Saldo	144	89	36	18	143	287	13	300
2006	Adesão	7	9	5	1	15	22	2	24
	Desliga	4	2	5	0	7	11	3	14
	Saldo	147	96	36	19	151	298	12	310
2007	Adesão	8	7	8	1	16	24	0	24
	Desliga	2	11	10	1	22	24	0	24
	Saldo	153	92	34	19	145	298	12	310
2008	Adesão	7	5	1	2	8	15	0	14
	Desliga	3	7	2	3	12	15	2	17
	Saldo	157	90	33	18	141	298	10	308
2009	Adesão	11	8	4	3	15	26	1	27
	Desliga	3	6	5	4	15	18	1	19
	Saldo	165	92	32	17	141	306	10	316
2010	Adesão	7	8	11	4	23	30	0	30
	Desliga	2	7	5	1	13	15	4	19
	Saldo	170	93	38	20	151	321	6	327
2011	Adesão	14	4	5	1	10	24	0	24
	Desliga	3	9	5	3	17	20	0	20
	Saldo	181	88	38	18	144	325	6	331
2012	Adesão	23	5	5	0	10	33	1	34
	Desliga	3	7	6	2	15	18	1	19
	Saldo	201	86	37	16	139	340	6	346

### 3) 業種別部会/国籍別毎の会員数

#### 業種別部会/国籍別毎の会員数

2012年12月現在

N°	Deptos	Japonesas	Nikkeis	Brasil	Estrang	Soma	PF	TOTAL
	部会	進出	日系	ブラジル	外資	計	個人	合計
	dez/12	201	86	37	16	340	6	346
1	Automotivo 自動車	31	2	0	1	34	1	35
2	Comércio Exterior 貿易	24	4	2	0	30	0	30
3	Construção e Imobiliária 建設	6	8	1	0	15	0	15
4	Consultoria e Asses コンサル	5	25	24	6	60	4	64
5	Eletroeletrônico 電気電子	27	4	1	0	32	0	32
6	Fiação e Tecelagem 繊維	8	1	0	0	9	0	9
7	Financeiro 金融	11	5	5	1	22	0	22
8	Gêneros Alimentícios 食品	12	4	1	1	18	0	18
9	Metal-Mecânica 機械金属	39	6	1	1	47	1	48
10	Produtos Químicos 化学	24	1	0	0	25	0	25
11	Transportes e Serviços 運輸	14	26	2	6	48	0	48